

# 日本頭痛学会 喜多村賞

「日本頭痛学会喜多村賞」は、1996年(平成8年)第24回頭痛研究会(会長 松本清 昭和大学脳神経外科教授)より若手研究者の奨励を目的として創設されました。

この賞は1973年(昭和48年)に日本頭痛学会の前身となる「頭痛懇話会」を創設し、1984年(昭和59年)の第13回頭痛研究会に至るまで代表世話人として日本の頭痛研究・診療に多大な貢献をされた、故喜多村孝一先生(東京女子医科大学脳神経センター所長)を記念した賞です。

対象者:日本頭痛学会総会で発表された最も優れた演題の演者(発表時満40歳未満)に授与されます。

選考委員:選考委員長、副委員長、総会会長、前期会長、次期会長の5名

## 【事務局・お問い合わせ】

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル

(株)春恒社学会事業部内

TEL:03-5291-6231

FAX:03-5291-2176

e-mail:jhs-office@shunkosha.com

## 【歴代受賞者】

- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 2009年度 | 安藤 直樹  | 当院頭痛外来を受診した小児頭痛の分類と特徴  |
| 2010年度 | 渡邊 由佳  | <a href="#">片頭痛患者のオドボール課題におけるパフォーマンスの検討</a>                                      |
| 2011年度 | 鳥海 春樹  | <a href="#">TRPV1 受容体を介した三叉神経の侵害刺激が CSD 発生に及ぼす影響</a>                             |
| 2012年度 | 北村 英二  | <a href="#">Chronic migraine のリスクとしての高レプチン血症と<br/>塩酸アミトリプチリンによる CSD 抑制効果について</a> |
| 2013年度 | 滝沢 翼   | <a href="#">TRPV1 刺激時の三叉神経脊髄路核における HMGB1 発現誘導</a>                                |
| 2014年度 | 萱間 洋平  | <a href="#">炎症性メディエーター存在下における TRPM8 発現調節</a>                                     |
| 2015年度 | 重松 秀明  | <a href="#">片頭痛既往のある RCVS の検討—白質病変の合併頻度—</a>                                     |
| 2016年度 | 岩崎 晶夫  | <a href="#">当院における片頭痛患者の卵円孔開存の頻度と大脳白質病変に関する検討</a>                                |
| 2017年度 | 安田 高志  | <a href="#">若年性片頭痛患者の大脳白質病変の進行に関する検討</a>   |
| 2018年度 | 椎名 智彦  | <a href="#">片頭痛患者の eLORETA を用いた脳活動変化の検討</a>                                      |
| 2019年度 | 邦武 克彦  | <a href="#">99mTc-ECD SPECT で示唆された RCVS における脳組織障害の遷延</a>                         |
| 2020年度 | 城野 喬史  | 初期臨床研修医の頭痛診療 —アンケートからみえたこと—  |
| 2021年度 | 小山内 綾子 | 片頭痛発作を誘発する臭いについての検討  |